

市有施設における照明設備のLED化が完了しました!!

本市では、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた施策の一環として市有施設の照明のLED化を進めています。

令和3年度末に完了した市立学校・消防施設のLED化事業(1次事業)に続き、2次事業として、建替が検討されている施設、各企業が管理する施設等を除く区役所、社会体育施設、市営住宅等、1,128施設のLED化事業が本年9月末に完了しました。

照明のLED化によって電力使用量の減少が図られ、温室効果ガスの排出だけでなく、電力料金の削減にも大きく寄与します。

今後も引き続き、施設の省エネルギー化や再生可能エネルギーの導入など、率先して事務や事業の脱炭素化に取り組みます。

LED化による削減効果

CO₂ 温室効果ガス
排出削減量(見込み)

約5,800t-CO₂/年

※1年間にアクアドーム約400個分の森林が吸収するCO₂の量に相当

¥ 電気料金削減額
(見込み)

約3.1億円/年



LED化された北区役所執務室の照明

熊本市地球温暖化防止活動推進センターより 熊本市西部環境工場の イベントに参加しました!

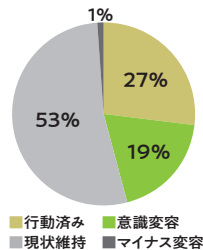


9月23日(土) 熊本市西部環境工場にて開催された「自然とふれあおう!!」の環境イベントに参加。[デコ活]の普及活動や省エネ家電、再エネ由来の電気についてアンケートを行いました。その結果123名の方にご協力いただきました。ご来場された皆様にはアンケートに協力いただき感謝申し上げます。

アンケート結果

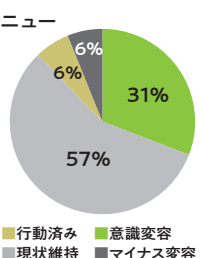
▶ 省エネ家電アンケート

省エネ家電アンケートでは『行動済み』が27%であり、『現状維持』が53%及び『意識変容』が19%となりました。省エネ家電のイベントやラベルは知らなくても必然的に購入している人が多くみられました。



▶ 再生可能エネルギー由来電力メニュー 利用意識実態アンケート

再生可能エネルギー由来電力メニュー利用意識実態アンケートでは『行動済み』が6%であり、『現状維持』が57%及び『意識変容』が31%となりました。再生可能エネルギー由来電力メニューは、認知度が低く、説明することで意識変容や行動変容を促すことができました。



熊本市地球温暖化防止活動推進員より

最新型 家計簿&環境家計簿で デコ活しよう! -後編-

8月号の前編に引き続き、今回ははいよいよ最新型「家計簿&環境家計簿」の作り方を紹介します!

デコ活とは「脱炭素しよう!」という環境省の愛称だよ!



まず下の表のように、縦は費目を、横には支出と予算をとる表を作成し、月ごとの支出を1年分インプットします。1年間の支出と予算を差し引きすることで、どの費目がどの程度の収支だったのかが一目でわかります。同時に電気、ガス、ガソリンの二酸化炭素排出量がグラフの形で見える化できます。この1年の結果をもとに次年の予算を考え、PDCAサイクルを回すことで、効率的に削減に取り組みます。

2021年		1月			12月		
区分	費目	予算	支出	収支	支出	収支	金額を家計簿にして、収支を計算する
一般	食費(円)	15000	20000	▲5000	17000	▲2000	▲10000 ×
	衣服・化粧品(円)	12000	10000	2000	5000	5000	8000 ○
	その他(円)	4000	5000	▲1000	3000	1000	▲5000 ×
	電気代(円)	6000	5000	1000	6000	0	5000 ○
エネルギー	電気量(kwh)		653		784		2000 ○
	ガス代(円)	7000	6400	600	6400	600	2000 ○
	ガス使用量(m ³)		24		24		4000 ○
	ガソリン(円)	8000	10000	▲2000	7000	1000	0 ○
	ガソリン(L)		20.1		14		▲3000 ×
通信・情報	電話代(円)	1200	1000	200	1000	200	50000 ○
	新聞代(円)	2000	1500	500	1500	500	
医療費	(円)	1000	2000	▲1000	2000	▲1000	
その他	(円)	12000	10000	2000	5000	7000	

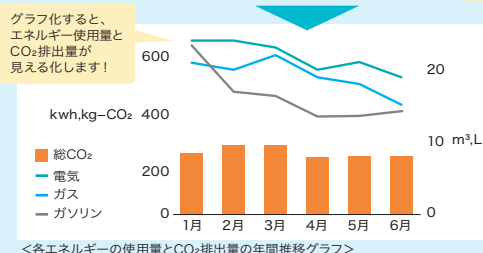
年間の収支	判定
▲10000	×
8000	○
▲5000	×
5000	○
2000	○
2000	○
4000	○
0	○
▲3000	×
50000	○

年間の収支がマイナスだったら「×」プラスなら「○」

この家計簿&環境家計簿の良い点は、家計簿を全体の金額でとらえるのではなく、費目ごとに細かく見える化し、個々の出費に対し、アプローチが可能という点です。支出を抑えるということは消費を抑えるということになり、CO₂排出量を減らすことにつながります。皆さんもこれを機に、家計簿&環境家計簿を作成し、環境にも家計にもやさしく便利な暮らしをしましょう!

エネルギー使用量にそれぞれにCO ₂ 排出係数をかけて合計し、環境家計簿として管理する。	1月	2月
電気量(kwh)	653	472	
ガス使用量(m ³)	30	28	
ガソリン(L)	24	24	
総kg-CO ₂	238.3	202.4	

CO₂排出係数(R3年度)
電気:0.32(kg/kwh)・ガス:2.25(kg/m³)・ガソリン:2.30(kg/L)



<各エネルギーの使用量とCO₂排出量の年間推移グラフ>